

生活支援体制づくり協議体会議（地域包括支援センター新津
担当圏域レベル）開催報告書

1 開催日時	令和 7 年 7 月 9 日（水） 9 時 30 分 ～ 11 時 10 分
2 開催場所	可美公園 第1・2研修室
3 参加者	委員 11 名（新津地区 6 名、可美地区 5 名）、関係機関 8 名、事務局 4 名
4 協議の内容	<ol style="list-style-type: none">開会委員紹介会長・副会長の選出会長挨拶協議事項<ol style="list-style-type: none">これまでの振り返り<ul style="list-style-type: none">協議体とは！？令和6年度の可新生活支援体制づくり協議体について CSWよりパワーポイント資料を用いて報告をおこなった。【情報提供】<ul style="list-style-type: none">アンケート調査（新津） 新津地区社協顧問より令和元年度と令和6年度に行ったアンケート調査の内容を情報提供いただいた。ゴミ出し事例 他地区情報について 包括支援センター新津のセンター長より他地区事例・今後の展望を含めて情報提供いただいた。【意見交換】地区ごとに分かれ、グループで意見交換を行った。 〈可美地区〉<ul style="list-style-type: none">■高齢者カフェの現状<ul style="list-style-type: none">1月からカフェ活動をスタート。第1,3金曜日の10:00～12:00開催。 人寄せの工夫として「もったいない市」やパンの販売、子ども対象のイベント等を行っている。同じ会場を利用しているメンバーが帰り際にカフェを利用している。 カフェの利用者としては数十名いるが、カフェのみの利用者が少ないと感じているため、本来のねらい(増楽町にサロンがないためその方達の居場所として)から少し外れているのではないかと。負担にならないような運営を続けたい。そのうえでボランティアメンバーが70代後半～80代はボランティア側の生きがいにもなり良いことだと思う。■今後のカフェ活動<ul style="list-style-type: none">東西に長く、南北は分離しているという地理特性があるので参加者にばらつきが出てしまう。

- ・他のイベントと合わせて、回数を調整。ただしイベントをやるのが主になってしまうと本来のカフェの目的が薄れてしまうのでは。
- ・例えば鑑賞企画の合間にカフェタイム。
- ・現状の継続でも良いのではないかと。決められた固定曜日で開催を行うことが大事。続けることで少しずつ人が集まるようになるのではないかと。
- ・参加者だけではなく、80歳まではボランティア活動が出来る体制があると良い。
- ・子どもも来て欲しい。
学習支援も展開出来るのではないかと？(可美地区には元教員も多いので)
- ・コミュニティスクールと協力。
→中学生にも協力をいただけることがあるのでは？

〈新津地区〉

■ ゴミ出しについて

- ・ゴミ出しが出来なくなる。不適切なゴミ出しが増える。無理なゴミ出しを続ける。など課題は様々。
- ・ゴミ出しできない人→それ以外の支援も必要→見守りの必要性
- ・ヘルパー(介護保険)をお願いをするにしても時間で働く方もいるため、早くに依頼をしても、収集時間に間に合わない場合も多い。

■ 家事支援の依頼

- ・ゴミ出しの依頼もあるが、草刈りが多かった→対策をとっていき必要も地域たすけあい協力員は7・8人であり、草取りを行うには現状人員不足

■ 集積所について 自治会の動きも含めて共有

○ 卸本町 2ヶ所であった集積所を4ヶ所に増設

- ・小屋型でいつでも出せる 費用としては30万~40万円
集積日以外は鍵をかけてある。
- ・地主の許可が取れば設置場所の申請は難しくはないが、設置場所(用水路の上など)によっては費用や時間がかかってくることもある。

○ 米津町 160世帯

- ・どうやって集積所を…問題となる事柄として、置き場の選定や設置費用の工面
- ・近隣の助けあいで行ってくれれば良いが 高齢者の要望事項として捉え地域全体で考える必要がある。
- ・一人暮らしの方が100世帯ほどあり、空き家問題も出てくると予想される
現在耕作放棄地も見受けられる ゴミ置き場としての活用はできないか
収集ルートの関係で、候補地が走行車線の反対であると難しいと聞いた。
集積所として公園の一部が使えないか?
集積所は必要だが、家の敷地になると…

■ ゴミ出しに限らず

- ・生活面全般で困りごとがある人がいるのか? どの地域にニーズがあるのか。
自治会と民生委員との連携 10自治会の会合に民生委員は出ているか。
→堤町は毎月の定例会に各団体が出席し、今月の活動状況なども共有している
(シニアクラブ、子ども会、民生委員、祭りの若連など)
- ・各町の自治会がそれぞれで検討し連合会で集約することができれば
⇒草刈り→ボランティアの集まりを作る等検討
登録制など、例えば公式ラインを作るとか

■ ゴミ出しで課題になることを整理、確認

- ・時間や距離 例) 集積時間の緩和対応事例など
各地域を回る。

6. 次回の協議体会議について

日時：令和6年9月30日 9時30分から11時00分まで

場所：可美公園 第1研修室

7. 連絡事項

8. 閉会

可新生活体制づくり協議体 副会長

**5 今後の見通し・
必要な対応**

今回の協議体では新津地区でのアンケート調査・ゴミ出し事例について情報を共有することができた。

可美地区：カフェ活動を継続していく中で、少しずつ変化を持たせて行く形が負担なく運営を続けていけるのではないか。

新津地区：ゴミ出しで課題になることを整理、また地域での状況確認も必要だと感じた。